

冷たい風の中にも光と花の香りに春を感じる今日。

ここに大阪府立今宮高等学校第六十三回、総合学科第十三回卒業証書授与式を挙行致しましたところ、公私とも何かとご多用にもかかわりませず、大阪府教育委員会、大阪府議会をはじめ、多くのご来賓、保護者の皆様や同窓会、旧職員の皆様方のご臨席を賜り、お祝いただきますことは、卒業生はもとより本校教職員、在校生一同、誠に光栄に存じます。高いところからではございますが、心より厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

保護者の皆様。本日はまことにおめでとうございませう。今、晴れやかに巣立ちゆくお子様たちの姿を目の前にされ、幼い頃からの生い立ちを思い出されるなど、感慨も一入のことと存じます。心よりお喜び申し上げます。また、この間、本校の教育に寄せられましたご理解、ご協力、そしてご支援に対しまして、深く感謝申し上げます。

総合学科 13 期生、卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございませう。今、どんな気持ちでこの卒業証書授与式に臨まれておられるでしょうか？

この 3 年間は決して楽しいことだけではなく、辛いことやしんどいことがたくさんあったでしょう。そうしたさまざまな壁を乗り越えて、あなたたちは晴れの日を迎えることができました。本当によく努力されました。なによりも、今日、この卒業式という晴れやかな式に臨んでいる自分を誇りに思ってください。

とともに決して忘れてはならないのは、保護者の方々をはじめとしてあなたたちを支えてくれた多くの方々の存在です。その方々への感謝の気持ちをけっして忘れてはなりません。

さて、あなたたちはこの今宮高校を巣立って、新しい

一歩を踏み出します。しかし、これからの人生の道のりは決して平坦なものではありません。皆さんはこれからいくつもの山や谷を越えていかなければなりません。

そこで、みなさんがこれから人生という長い道のりを歩んでいく上で、大切にしたいことをお話したいと思います。

まず、やさしさ、おもいやり、そして感謝の気持ちを大切にしてください。

いうまでもなく、人は一人では生きていけません。私達は人と出会い、共に暮らしたり、共に仕事をしたり、共に遊んだりします。その中で、喜びや楽しみ、悲しみや怒りを共有していきます。そして、いつの日か別れていかなければなりません。人生とはまさに人との出会いと別れの繰り返しです。だからこそ、私達は出会った人とのつながりを大切にしていかなければならないのです。

自分がくじけそうになった時、折れてしまいそうになった時、励ましたり、手を差し伸べてくれる「家族」や「友人」の存在は何よりもかけがえのないものです。

しかし、人とのつながりの大切さとは、助けてもらったり、助けたりということだけではありません。

何よりも重要なことは、人を「愛し」、人から「愛されて」こそ、あるいは人を「信頼し」、「信頼されて」こそ私たちは生きる「勇気」と生きる「強さ」、そして生きている「実感」、生きる「喜び」を持つことができるということです。

そうした素晴らしい人生の宝物は、自分のためだけ、あるいは損だ、得だけで生きていたのでは手にすることはできません。それは、人との損得抜きで、心から相手を愛し、信頼してつながることによってのみ、私達は手にすることのできる人生の宝物です。

しかし、最近の世の中は厳しい経済状況や社会状況の中、不幸な事件、悲しい事件も多く、決して豊かなつな

がりに満ちているとはいえません。生きていくのは大変厳しい時代です。でも、こうした世の中だからこそ、皆さんには人との出会いとつながりを大切にして欲しいと思います。

そのために、他の人へのやさしさと思いやり、そして、感謝の心を忘れずにいてください。人にやさしさを差し出せば、あなたへのやさしさが、思いやりを差し出せばあなたへの思いやりが、そして感謝の気持ちを差し出せば、あなたへの感謝が返ってきます。逆に憎しみを差し出せば、あなたへの憎しみが返ってきます。豊かな人生とは人との豊かで、暖かいつながりこそがあってこそえることのできるものです。

次に「夢と希望」を持ち続けて下さい。生きていく中では、うまくいかないことや思い通りにならないことがたくさんあります。というよりも、思い通りになることの方が少ないかもしれません。

しかし、どんな苦しい時でも夢と希望を失わないで下さい。もうだめだと思った瞬間に、本当にだめになってしまいます。絶望からは何も生まれてきません。

大切なことは、先が全く見えないような暗闇の状況であっても、希望をもって、夢の実現を目指して、自分の職場や家庭や社会で与えられた仕事や役割から逃げることなく、あせらずに着実に、そして誠実に毎日毎日を一步一步歩んでいくことです。

13期生のスローガン、合言葉は抱“夢”RUNです。夢を抱いて走る。私には目標に向かってかけていく皆さんの姿が見えるような気がします。どうかいつまでも夢を抱いて走って下さい。

また、今宮高校3年間の学校生活の中で、あなた方には本校の校訓である「誠実剛毅・和親協同」の精神もしっかり根付いていると確信しております。今一度、本校の校訓を心に刻んで下さい。加えて、皆さんはこれから本校の同窓会である自彊会の一員となられます。自彊会

の自彊とは自ら努めて励むことでもあります。

これらは今宮高校が 100 年を超える歴史の中で育んできた大切な精神であり、皆さんへ受け継ぐ誇り高き伝統であります。卒業しても一生涯、本校の精神を心に刻み、忘れることなく人生を歩んでいただきたいと思います。

ご来賓、保護者の皆様、今宮高校は皆様のご支援、ご協力のおかげで、ここにいます卒業生諸君を世に送り出すことができました。改めて心から感謝申し上げますとともに、従前にもまして、今宮高校へのご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後に、卒業生の皆さん、この今宮高校で過ごした日々を決して忘れないでください。校舎の佇まい、教室のざわめき、机の手触り、友達の笑顔、季節ごとの風の感触や香り。全身に今宮高校の記憶を刻んでください。将来、ふと学校のことを思い出した時、それらの記憶はきっと皆さんを暖かく包んでくれます。今宮高校は皆さんの心のふるさとでありたいと思います。そのふるさとから旅立つ皆さんの前には無限の可能性が広がっています。

みなさんが、やさしさと思いやりに満ちた、豊かな人生を歩まれることを願いまして、式辞とします。お元気で。